

ちゅうごく地域 Ruby ビジネスフォーラムのご案内

～ ビジネス活用に向けた Ruby の魅力と課題について ～

1. 開催概要

中国経済産業局では、生産性の高さ等から国内外から注目されているオープンソースプログラミング言語「Ruby」のビジネス活用を促進するため、各自治体、情報産業協会、OSS団体、ユーザー等関係機関の参画のもと「ちゅうごく地域 Ruby ビジネス活用研究会」を組織し、「Ruby」の技術的優位性やユーザーへもたらすメリットなど、「Ruby」の見える化を図ってまいりました。

今回当研究会で見いだされた成果を一般に広く公開するとともに、今後 Ruby のエンタープライズ系開発等への適用拡大を図るとともに、中国地域で Ruby 技術者集積や拠点形成などを図る目的で「ちゅうごく地域 Ruby フォーラム」を開催いたします。

ITベンダの方々も、ユーザー企業の方々も、この機会をお見逃し無くふるってご参加ください。

2. 開催日時

フォーラム : 平成22年3月16日(火)

16:00 ~ 17:30 (15:30 開場)

交流会 : 17:45 ~ 会費 : 5,000円程度



3. 会場

ANAクラウンプラザホテル広島 3F オーキッド 東の間 (交流会 : 4F カメラ)

4. プログラム

開会あいさつ

中国経済産業局 局長 長尾 正彦

講演「エンタープライズアプリケーション分野の Ruby 適用について」

講演者: 日本ユニシス株式会社 総合技術研究所 先端技術部長 羽田 昭裕 氏

講演概要: エンタープライズ系での Ruby の適用性について、日本ユニシス株式会社での取り組み事例を踏まえ、Ruby の優位性のほか、注意を要することや課題などについてソフトウェア工学的な見地を含めてご紹介いただきます。

(講演者紹介)

1984年に日本ユニバック(現日本ユニシス)入社。電力/製造/金融分野でのシステム・インテグレーションを担当した後、企業のアーキテクチャ設計、IT標準化などのコンサルティングに携わり、2004年4月よりエンタープライズ・アーキテクチャ、システム開発方法論などITガバナンスを支援するITコンサルティング部門を統括。JEITA、UMTPなどで民間主導の標準化に携わる。

2007年7月より現職。

報告「Ruby ビジネス活用研究会における Ruby の見える化に関する成果報告について」

Ruby ビジネス活用研究会 座長 島根大学 総合情報処理センター長 教授 野田 哲夫 氏

「Ruby 拠点形成に向けた今後の取り組みについて」

中国経済産業局

【主催】中国経済産業局 株式会社 広島ソフトウェアセンター

お問い合わせ先

株式会社広島ソフトウェアセンター
(ちゅうごくIT経営応援隊・地域イノベーションパートナーシップ事務局)

〒733-0834 広島市西区草津新町1-21-35 広島ミクス・ビル

TEL(082)278-8877 FAX(082)278-8878

E-mail: ouentai@h-sc.co.jp 担当 前田



